



### 分科会主旨

フィールドワークでは、町家の減少とマンションが増加する明倫学区の現状と典型的な京町家を見学して文化と伝統を体感した。事例発表では、子どもをとりまく住環境と地域でのコミュニティのありようを考察した。

### フィールドワーク



**レクチャー：**吉田氏(現・祇園祭山鉾連合会理事長)から、昔の子どもたちの暮らしや遊びと祇園祭との関わりを伺った。北邑氏(鯉山町の子ども会)から、今の子どもたちの現状。マンション住民と地域住民の交流と地蔵盆、祇園祭、蠟燭売りなど新しいシステムでの町内会行事の取り組みを伺った。

**吉田家(京都生活工芸館・無名舎)：**白生地問屋であった典型的な京商家。店舗と住居空間が二つの庭と通り庭で仕切られた造り。陰と陽の二つの庭からは温度差によって家の中に揺らぎの風がつけられる等、随所に先人の生活の知恵を見聞することができた。

**釜座町の町家<sup>ちょういえ</sup>：**町内の集会所。再生改修工事において町内の人たちと一緒に子どもたちも木舞組や土壁塗りなどをおこない再生に加わった様子のビデオを視聴。2階の紅殻格子の虫籠窓が特徴的である。



### F 分科会「子どもと住環境」

司会 大北美知枝(鳥取県建築士会)

アシスタント 速水実千子(京都府建築士会)

山崎 倫子(鳥取県建築士会)

FWレクチャーコーディネーター 加茂みどり

出席者 39名(他 近畿スタッフ 9名)

### 事例発表 1 新海直美、高木宣恵(北海道建築士会) 「高校の先生たちとの住教育セミナー」

H11年からの活動をまとめた冊子「子どもをはぐくむ住まいづくり」(H18年発刊)を元にH20年から家庭科教諭との4年間にわたる「住教育セミナー」による成果と豊かな住環境づくりは家庭、地域、行政、学校ぐるみで考える必要がある報告を視聴した。



### 事例発表 2 浅井秀子(鳥取県建築士会) 「地域での防災学習をサポートしよう」

防災マップ・カルタ・川柳、紙ぶるる、大型木造模型などのツールを使って小学校での出前授業をとおして子どもたちが防災を見近な問題として捉えることができた成果報告と活動への課題を視聴した。

### FWのまとめ 速水実千子(京都府建築士会)

男女共が安心して家庭を築き、仕事をしながら子育てが出来る環境やコミュニティを作り、子どもたちもその一員としての役割を体験させることが大事と考える。(報告書の抜粋)

### 意見交換

参加者全員での自己紹介と意見交換をおこなった。「鯉山町の『自分たちで作る新しい文化』が印象深い。」「学区と遊びの関連マップの提案」「北海道の継続は素晴らしい」「防災、住教育も子どもの時からが大事」「地域にあった取り組みがあってよい」等々。

### まとめ

明日への子どもの住環境づくりは、大人の責任であり、私たち建築士の継続的な取り組みは重要である。